

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境学習の推進			所管	環境清掃部 環境課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	110	計画事業名	環境学習の推進		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (3) 持続可能な都市環境づくりの推進					[事業開始]	平成12年度
		[施策] ③ 環境学習、環境配慮行動の推進[42]					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 東京都台東区立環境ふれあい館条例、同施行規則				
	事業対象	来館者、在勤・在学者						
	事業目的	身近な環境から地球環境まで、幅広い視点からの環境学習を提供することで、環境保全に対する理解や意識の向上を図り、環境配慮型の行動へと繋げていく。						
	事業内容	<p>子ども環境委員会、環境学習入門講座、環境・ごみ減量・リサイクル講演会など、子どもから大人まで各世代に応じた環境学習講座を開催する。また、環境学習室を整備・運営し、より多くの区民に環境学習の場を提供するとともに、学校・地域・職場など様々な場面で、それぞれの主体が環境学習に取組めるよう、環境情報の提供や人材育成、交流支援を行う。</p>						
委託の有無	一部委託	委託内容	①環境学習入門講座 ②区民自然観察員養成講座 ③非常勤職員指導・ボランティア養成研修 ④精華公園ビオトープ調査 ⑤展示物制作					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	環境学習入門講座	回	12	12	12	12	
		子ども環境委員会	回	10	10	10	10	
	成果指標	講座等への参加者数 (環境学習入門講座、子ども環境委員会)	人	500	362	494	431	
		環境学習室の利用の人数	人	20,000	20,993	18,196	20,075	
	決算額	(単位：千円)			30,092	27,347	27,695	
	事務事業コスト	人にかかるコスト (人件費など)			26,966	25,790	24,951	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			16,766	15,006	13,670	
		(単位：千円) その他のコスト (扶助費・補助費など)			762	713	1,005	
		総経費			44,494	41,509	39,626	
	財源項目	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			44	53	70	
(単位：千円) その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			1,362	1,247	1,366			
一般財源 (区負担額)			43,088	40,209	38,190			
前年度から改善した事項	4階ホールの展示テーマを「江戸時代のリサイクル」から「省エネルギー」に変更し、展示方法も「見て、触れて、感じる」形式に変更した。また、事前申込なしで参加できるプログラムの充実を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	環境問題は、区民や事業者がその役割と責任を理解して、環境配慮行動に取り組んでいくことが大切である。環境学習が、そのために果たす役割は大きく、その必要も高い。					
	効率性	2	事業の展開をNPOとの協働で実施するなど、多様な取組で効率化を図っているが、環境学習室の利用人数と総経費を比較すると、若干ではあるがコストが上昇している。今後、更なる効率化を図るためには、環境学習室の事業手段を見直す必要がある。					
	手段の適切性	3	環境保全活動団体や特定非営利活動法人、民間企業等の持つ専門性を活かして実施している手段は、おおむね適切である。今後もニーズに沿ったバラエティある講座が実施できるよう努めていく。					
	目的達成度	2	講座等への参加者数が、目標をやや下回ったが、プログラムを見直したことにより参加者のニーズに、より応えることができた。今後も、より参加者のニーズを捉えた内容を工夫すると共に、周知方法を見直し、参加者の確保に努めていく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
展示方法の「見て、触れて、感じる」形式への変更、更新回数の増加、事業の開催方法の見直しにより、講座への参加者が増加してきている。今後も常に、多方面から事業を見直し、一人でも多くの区民に環境学習の場を提供し、区民の環境配慮行動へと繋げていく。								